

**GIGAスクール3年目  
2023年度の  
授業実践編**

# 2023年度実践

## 【授業編】国語科①

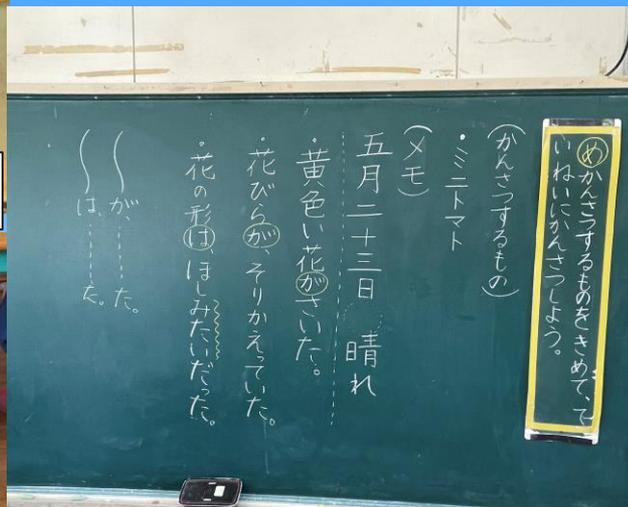
### タブレット端末のカメラ機能を 活用した作文指導

◆5月22日(火)2年国語科

# 2年1組でタブレット端末のカメラ機能を活用した 国語科の作文指導がありました 2023年05月22日



タブレットで撮影した写真



板書



写真を見ながら作文を書く様子

5月22日(火)2校時に2年1組で国語科の授業がありました。

生活科で育てているミニトマトをタブレット端末カメラで撮影し、その写真を見ながら、ミニトマトの成長の様子を見つけて作文を書く。本校の2年生において初めてタブレット端末のカメラ機能を活用した国語科の作文指導としての意義がある。

※朝登校したらタブレットを引き出しにしまいうルーティン、個人持ち用タブレットペンの活用が見られた。

# 2023年度実践

## 【授業編】算数科

終末の適用問題としての活用

## デジタルドリルの活用

◆5月22日(火)4年算数科

(算数科少人数指導3クラス4展開)

## B1: 個に応じる学習

### 1単位時間におけるデジタルドリル活用の方考え方の例

- 教師が単元をデザインする上で効果的な場面において、計画的に活用する。
- 学習指導において補助的役割として、例えば知識・技能の習得や定着の場面で、適切な反復による学習指導を進めるようにする。

導入	展開	終末	
学習問題の把握 (一斉)	問題の解決 ・個別(自力解決等) ・小集団や全体等での 考えの交流や練り合い	学習の まとめ (一斉)	練習 問題 (個別) 5~10分

※ その他、朝学習や放課後等の短時間学習での活用も考えられる。

### デジタルドリルでの適用問題を指示



タブレット準備



算数科少人数指導



デジタルドリルで適用問題に取り組む児童

**◆適用問題でのデジタルドリルの活用 ※算数少人数指導+デジタルドリルの活用の実践**  
 本時の終末部分で学習した内容の問題をデジタルドリルを活用して解かせる。採点はデジタルドリルが行い、その達成状況は自動集計され記録・保存できる。

**2023年度実践**

**【授業編】国語科**

**特別支援学級における  
タブレット端末を活用した  
漢字指導**

**◆5月22日(火)せせらぎ6組**

# せせらぎ6組タブレット端末を活用した個に応じた「漢字指導」

2023年05月22日

子どもたちが個別最適な学習を行えるようにしています。



漢字ドリル帳に記されたQRコードを読み取る



B1: 個に応じる学習



B1: 個に応じる学習



B1: 個に応じる学習

特別支援学級ではタブレット端末を活用して個に応じた漢字指導を行っています。

**2023年度実践**

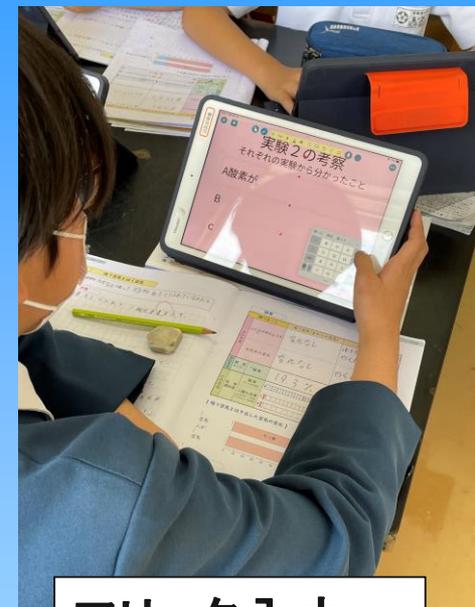
**【授業編】その他**

**タブレット端末の入力方法**

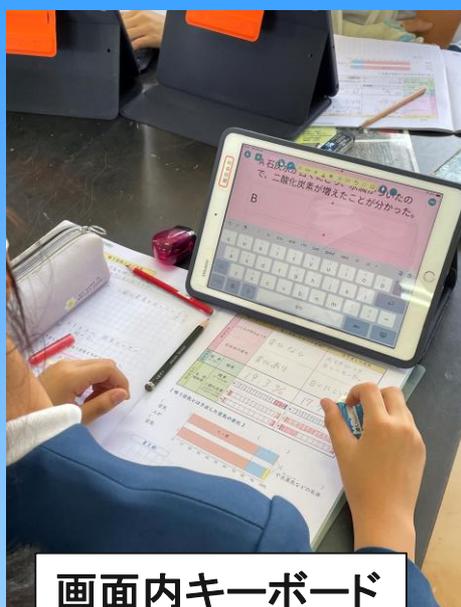
**5月21日(月)学び方編**

# 【教育の情報化】指、タッチペン入力、キーボードを使ったひらがな、ローマ字入力等の取組

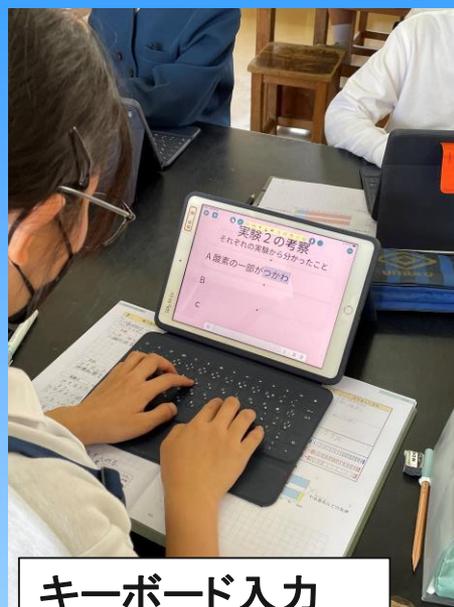
2023年05月21日



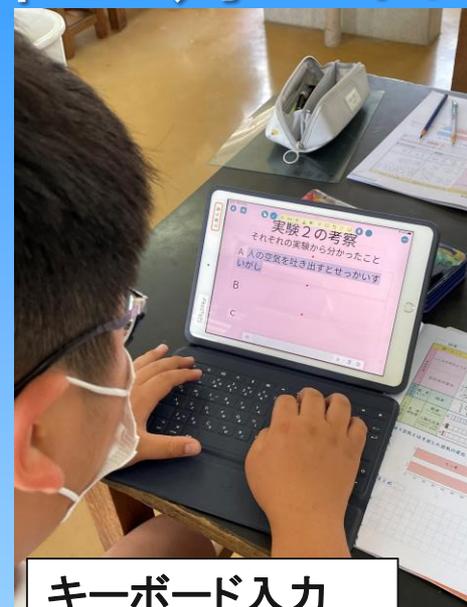
フリック入力



画面内キーボード  
入力



キーボード入力  
(ひらがな入力)



キーボード入力  
(ローマ字入力)

今後、学校としてはこれらの入力方法をどの学年で身に付けさせるべきか？を体系化していこうと考えています。それに伴って学習の成果物(〇〇新聞、〇〇の記録など)を手書きでまとめるか、文書データとしてまとめるか？についても体系化していこうと考えています。

現在はいろいろな学年で試しながら取り組んでいる段階ですが、**最終的には小学校が終了する段階ですべての入力方法を身に付けられたらよい**と考えています。

# 2023年度実践

## 【授業編】図工科

タブレット端末のカメラ機能を  
活用した絵画指導

5月 各学年スケッチ大会

# 図工科スケッチ大会でタブレット端末のカメラ機能を活用して描きたい場面の下書きをしています



描きたい場面の写真を基にスケッチするのでとてもよく観察しながら下書きが描けるようになっていきます。色付けも色の微妙な違いをよく見て描けるようになっていきます

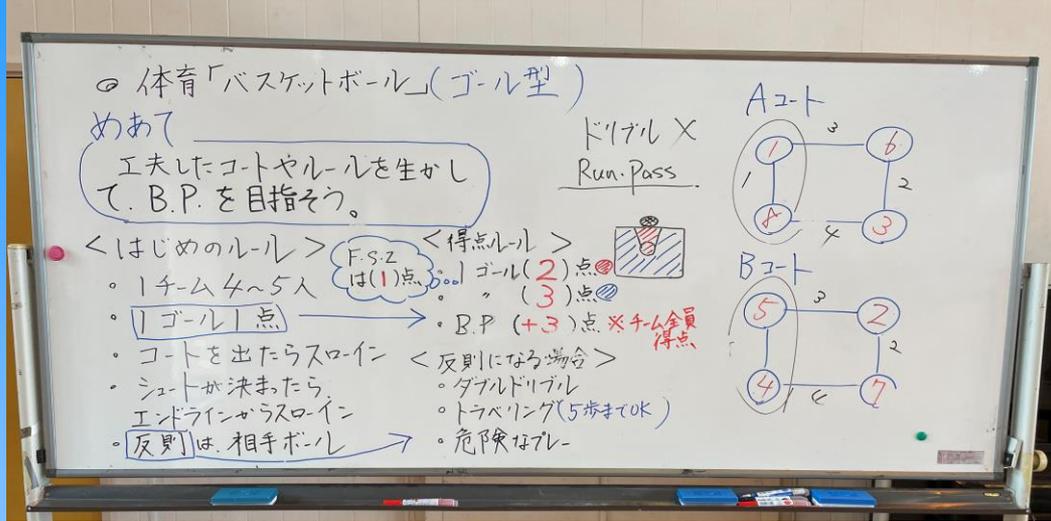
# 2023年度実践

**【授業編】**体育科

タブレット端末のカメラ機能を  
活用した球技指導

5月29日(月)6年2組

# タブレット端末のカメラ機能を活用してバスケットボールの試合場面の撮影をしています



コートを使い方、ルールの活かし方を工夫してどのように動いていけばよいかをタブレット端末カメラで撮影しています。試合後にこの動画を見て改善点を明らかにして共有します。子どもたちの表現活動のすべてにおいて活用できる手法です。